学校番号	1011

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「家庭基礎」　持続可能な未来をつくる　（第一学習社）						
副教材等	最新生活ハンドブック（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、人と人が協力して主体的に家庭や地域の生活を想像する資質・能力を伸ばすことを目指します。また授業では、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける活動を行います。

・生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養います。学んだことを自分の生活の問題としてとらえ、より良い生活をめざします。

・よりよい社会の構築に向け、生活を主体的に想像しようとする実践的な力を身に付けるために、様々な人々と協働で考える活動を行います。

・授業用のノートを用意してください。

・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントで気付いたこと、自身で考えたこと、クラスメイトの発言などから考えたことなどについてノートの枠外に記入していきましょう。また、自身で調べ、考えた事柄についても枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、より良い社旗の構築に向けて、人々が協力して主体的に家庭や地域の生活を想像する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。

（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決できる。

（３）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参加しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び、福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	青年期の自立と家族・家庭	1. 人の一生と生活課題 2. 自分を見つめる 3. 共に生きる 4. 家族と法律 5. 労働と生活時間	a:人の一生や青年期の課題について理解しているとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理ができる。 b:青年期にある自分を見つめ、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、自分らしい生活と生き方について課題の解決に主体的に取り組んだり、課題解決に向け振り返ったりして改善しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ノート	定期考査 ワークシート 提出ノート	ワークシート 提出ノート レポート

	食生活と健康	○この単元は一年間にわたって学習する 1. 私たちの食生活 2. 栄養と食品 3. 食品の選び方と安全 4. 調理実習 5. 持続可能な食生活	a:ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、食の安全や食品の調理上の性質などについて理解しているとともに、食生活の計画・管理に必要な情報を適切に収集・整理できる。 b:学習した内容を関連付けて目的に応じた献立の作成、調理計画、健康や環境に配慮した食生活について考察することができ、実践を評価・改善したりして自分や家族の食事を工夫することができる。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ノート	定期考査 ワークシート 提出ノート	ワークシート 提出ノート レポート 実習計画 実習振り返り
2学期	衣生活と健康	1. 人間と被服 2. 衣生活の安全と管理 3. 衣生活と資源・環境	a:ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができる。また、被服材料、被服構成及び、被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:被服の機能性や快適性について考察し、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ノート	定期考査 ワークシート 提出ノート	ワークシート 提出ノート レポート

2学期	3章 住生活と健康	1. 住まいと暮らし方 2. 住まいを計画する 3. 健康で安全な住まい環境	a:ライステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解し、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 b:住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c:様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ノート	定期考査 ワークシート 提出ノート	ワークシート 提出ノート レポート
2・3学期	子どもの生活と保育	1. 子どもの発達と生活 2. 子どもの育つ環境	a:乳幼児の心身の発達と生活、子どもの遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解するとともに、子どもの発達に応じて適切にかかわるための技能を身に付けている。 　子どもを取り巻く社会環境の変化・課題及び子どもの福祉について理解を深めている。 b:子どもを育てることの意義や、保育の重要性について考え、子どもの健やかな発達を支えるために親や家族及び地域社会の果たす役割の重要性について問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもの生活と保育における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ノート	定期考査 ワークシート 提出ノート	ワークシート 提出ノート レポート

2・3学期	高齢者の生活と福祉	1. 高齢者の生活と福祉	a:高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護にについて理解するとともに、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けている。 　高齢者を取り巻く社会環境の変化・課題及び高齢者福祉について理解を深めている。 b:高齢者の自立生活ついて問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者を取り巻く社会における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ノート	定期考査 ワークシート 提出ノート	ワークシート 提出ノート レポート
3学期	生活を支える経済	1. 消費行動を考える 2. 社会の変化と消費生活 3. 消費者の権利と責任 4. 持続可能な社会環境	a:家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会との関わりについて理解し、生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理ができる。 　消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任のある消費の重要性について理解を深めるとともに、生活情報の収集・整理ができる。 b:生涯を見通した生活における経済管理・経済計画の重要性やライフステージごとの課題、消費生活における意思決定について問題を見出し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 c: 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて消費生活における課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ノート	定期考査 ワークシート 提出ノート	ワークシート 提出ノート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度